



小郡市立大原中学校だより

# 大為小積



令和3年 弥生 24日

第24号

校長 矢野 晴一

学校教育目標:「目的意識をもって自ら学び心豊かにたくましく生きる生徒の育成」

## 「ありがとうございました！」 この一年のお礼

本日、令和2年度「修了式」を迎えるにあたり、保護者のみなさま、地域のみなさま、関係各位に対し、衷心よりお礼申し上げます。年度当初の臨時休業期間をはじめ、例年とは異なる制限された状況の中ではありますが、みなさまの大原中学校に対する「温かいまなざし」「ご協力・ご支援」のおかげで、本年度も無事にさまざまな教育活動を展開させていただくことができました。

本年度の教育内容をきちんと総括し、令和3年度につなげていきたいと考えております。来年度も、変わらぬご協力・ご支援のほどよろしくお願いいたします。

## 「響をつなぐ・・・！」 3年生をおくる会 開催



3月11日(木)、「3年生をおくる会」が開催されました。この会は、「卒業していく3年生へ感謝の気持ちを伝えること」「3年生の思いを受け継ぐこと」を目的としています。

はじめに各教室で、生徒会の役員が作成してくれた「3年間の軌跡」のメッセージムービーを鑑賞した後、3年生は中庭へ、1、2年生はベランダへ移動し、プレゼントの贈呈や合唱の交流が行われました。例年通りとはいかない中で、開催をあきらめるのではなく、生徒会の新しい役員の子どもたちを中心に「どうしたらできるか」を考え抜いて、実施に結びつけた「発想力」と「段取り力」に大きな感動を覚えるとともに、これから大原中を支えていく1、2年生の「新しい力」を感じることができました。

その後、東日本大震災地震発生時刻である14時46分、生徒会長の言葉とともにサイレンの音にあわせて全校生徒・全職員で黙祷をささげました。

実は、移動や集合、プログラムの進行もスムーズに行われ、会自体は14時40分に終了し、少し間があきました。そのとき誰からともなく声があがり、全校生徒で校歌を斉唱することになったのです。

**全校生徒が集まる最後の機会に、みんなで校歌を歌う「時間」が生まれ、みんなで校歌を「歌おう」となったことに、心が震えました。**

「おくる会」終了後に、ある先生がつぶやかれた「計画にはなかったこの時間は、偶然ではなく必然だったのかもしれない」との言葉が心に響きました。

## 「さあ、次年度に向けての決意を！」 令和2年度修了式

本日、3月24日(木)、本年度の修了式を行いました。今日で令和2年度が終わりを告げます。

誇りをもち、前を向いて巣立っていった3年生にかわって、1、2年生の子どもたちが大原中学校の「リーダー」として、また、「中堅学年」として歩み始めるときがやってきました。2年生には、これまでの取組で培ってきた「集団の力」を存分に発揮し、学校の柱となってもらいたいと願っています。1年生は、もうすぐ呼ばれる「先輩」として「互いを励まし合い、支え合う力」を高め、中堅学年として活躍してもらいたいと願っています。

来年度も、「積小為大」の言葉を胸に刻み、「つながり」を大事にしながら、子どもたちとともに充実した令和3年度の大原中学校をつくっていきたいと思います。



## 「伝えたい思い・・・！」卒業生から在校生へのメッセージ【対談】

巣立ちゆく日を二日後に控えた3月11日(木)、「前進」をつくりあげるために奮闘努力してくれた令和2年度の生徒会のリーダーたちの思いを、次の三つの観点から尋ねてみました。

### ★「中学三年間で心に残っていることは？」

【】 長期の休校が開けたとき、体力や気力もふくめて、「**継続することの意義**」を実感したことです。

【】 修学旅行が心に残っています。怒られたあと、**リーダーの意味について考え抜き、実行に結びつけることができた**のが一番の思い出です。

【】 体育大会です。同じ行事ですが毎年受け止め方は違っていました。特に、今年の体育大会は「開催がダメかもしれない」中で、折れそうな心とのたたかいでしたが、その中で**みんなに支えられながら「決してあきらめちゃいけない**」ということを学びました。私も誰かを支えられる人になりたいと思いました。

### ★「生徒会に対して、こんなふうにするともっとよくなると思うことは？」

【】 自分たちが取り組みたいと思っていたのですが、残念ながら感染予防の観点からできなかったことがあります。それは、もっと「**異学年の交流**」をやりたいということです。**交流することで学校全体が仲良くなれる**と思います。

### ★「後輩たちへのメッセージ！」

【】 まずは、後輩のみなさんへ「**ありがとう**」と言いたいです。これから不安もあると思いますが、みんな解決する力をもっていると思うので、**自分たちに自信をもって**一つ一つの活動にとりくんでいってほしいと願っています。

【】 予想できない状況や制限の中で、私自身少し後悔していることもあります。だからみなさんには後悔を少しでもなくすために、**今できることを一つ一つ一生懸命に取り組んで**ほしいと願っています。

【】 まずは、みなさんへ「**ありがとう**」と言いたいです。制限はありますが、みなさんは動く力をもっていると思います。スローガンは新しく変わりますが、「**前進**」を心の片隅において、**できることを一つ一つみつけて前に進んでほしい**と願っています。

※3人のコメントに共通しているのは、不安や制限もあると思うけれど、「**自分たちを信じ、できることをみつけて日々の活動に取り組み、前進してほしい**」ということでした。

**先輩からのメッセージ、確かに受けとめました。ありがとうございました！**

## 小さいけれど大きな感動・・・その25 「届いたおたより・・・！」

第74回卒業式を明日にひかえた3月12日(金)、地域の方から**すてきなお便り**が届きました。

一読後、私はうれしくてすぐに先生方に紹介するとともに、卒業式に向けて練習していた3年生にも内容を伝えました。一部ですが、文面の内容を紹介します。



先月、雪が降る登校時間帯に中学校前的大通りに出るために細い脇道で車を停止させ、車が通り過ぎるのを待っていたところ、大原中学校の生徒が私の車に気づき、私の方を向き、私の目を見て、深々と頭を下げて学校へと向かっていきました。

「まあ、なんてよい子なんだろう」と嬉しくなり、涙が出そうでした。

制限されることも多く、みなストレスを感じ、人の言動でイライラさせられる中で、この生徒の態度にさわやかな気持ちになり、元気になりました。

このようなすてきな子どもたちを送り出してくださっていることに心から感謝いたします。

なにげない 日々の営み たからもの  
磨き続ける 仲間とともに 晴一